



(上)持ち運びも、連結・解体も簡単にできるパーテーション

(下)パーテーションと同じ段ボールでできた本棚

先日、長野県松本市の二子保育園様にお伺いしました。園では、「子どもたちの発達段階にあつた環境設定をしていくたい」「子どもたちが主体的に関われる環境を用意したい」という杉田理事長の思いのもと、各クラスの発達に応じたゾーンをつくり、先生方が子どもたちを見守っていました。同じ理念を持った県内外の保育園に見学に出向き、沢山のアイデアを自園で実践し、日々振り返りと改善を

行っています。園では、「子どもたちの発達段階にあつた環境設定をしていくたい」「子どもたちが主体的に関われる環境を用意したい」という杉田理事長の思いのもと、各クラスの発達に応じたゾーンをつくり、先生方が子どもたちを見守っていました。同じ

の発案で、近くの業者の方に段ボールでパーテーションを作つて頂いておりました。その他、各環境を見させて頂いても、「うが無いから出来ない」ではなく、「無い中でも工夫や発案をして実現する」というお姿に、子ども主体の理念からぶれない事の大切さを学ばせて頂きました。私たちクルーも二子保育園様のように、今までの知識や常識に縛られず、いつも目標を向き、新しいアイデアや工夫を生み出していきたいと思います。

行つていらつしやる姿勢に、子どもに向き合う真剣さと、輝きを感じさせて頂きました。またゾーニングをする際に、教室の空間を仕切る「パーテーション」がありますが、大量に必要になるため、予算をどうにか落とせないと考え、理事長先生の発案で、近くの業者の方に段ボールでパーテーションを作つて頂いておりました。

先日滋賀県南草津にある、のみち保育園様にお伺いしました。橋本園長は常常、職員の皆様に理念を伝える時、仏教の教え、とりわけ浄土宗のお念仏の「み教え」の肝心重要なことは、まず自分がどれほどに(仏教的に)罪深い者であるかという自覚から出発する事だと伝えているそうです。そんな中、去年見守る保育の「三省」(自分自身の日々のふり返り)に出会い、深く共感し「この保育こそ!」と感じたそうです。目標が決まってか

ぶれない芯の大切さ



株式会社 カグヤ
東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階



第49版

理念と実践で 絆を結びます

知より好より楽しむ事



目を輝かせ、助け、学び合う子どもたち。

らは、皆様一丸となり変革が始まりました。

発達に合った環境を用意すると決め、先生主導の保育から子ども主体の保育へ切り替えることになりました。

今年4月から0・1歳児、7月から以上児と一緒にしました。僅か3ヶ月でここまで変化をした背景には、

7月から以上児と一緒にしました。

「私たち大人」ではなく「子ども」にとつてどうかを判断基準にしているところが強みであると感じます。

副主任の白井先生からは、「子ども達はすんなりと慣れてしまつて、目を輝かせています。」と話をされ、

今年3月に改築された新しい園舎で、園長の川辺先生から始める挨拶があり、ビングツリーの藤森代表によるご講演が行われました。

学、午後は意見交換会とギ

ビングツリーの藤森代表によ

るご講演が行われました。

今年3月に改築された新しい園舎で、園長の川辺先生から始める挨拶があり、ビングツリーの藤森代表によ

見て、聞いて、学んで振り返る



ドイツから持ち帰った環境の一つのロフト。

先日、横浜六ツ川保育園様で公開保育が行われました。公開保育には北は秋田県から南は熊本県と全国から約40名の先生方が参加されました。午前中は園見学、午後は意見交換会とギビングツリーの藤森代表によるご講演が行われました。

園の職員の先生方も、「褒め言葉も沢山頂きましたが、まだ課題があります。」と見学者の方の想が述べられました。

こちらが沢山学ばせて頂いています。」と見学者の方の言葉にも謙虚なお姿は、子どもたちの声が響き渡る園内です。

内で先生方が真摯に取り組まれていることを象徴していません。川辺先生からは

「外に行くことで日本の保育の置かれている現状が見えな

ります。和の物で環境をつくりたいと強く思いました。」と、國の外に出て、日本の事に気づかれたように、私たるもの周りを改善し振り返つていただきたいと思いま

平素より弊社の商品をご愛顧頂きありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようよろしくお願ひいたします。

CCN

Caguya Company News カグヤニュース

※カグヤでは、クルー同士別々の場所にいても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介いたします。

発酵バター

先日フランスで作られた、発酵バター「エシレバター」を頂きました。

発酵バターは、乳酸菌が入って発酵しています。その無添加で自然な味わいに感動し、早速社内でも発酵バターづくりに挑戦してみました。

生クリームにヨーグルトを入れ、40度で温め、3日間寝かせるとチーズのような濃厚なバターが出来ました!



クッキーやパンの材料に加えています。

かけがえのない仲間

先月全体会議で、「プレゼントシート」というアクティビティを行いました。

このアクティビティは「自分が仲間に与えているもの」と「仲間(一人ずつ)から与えられているもの」を書き出し、発表します。

リストには、正直さ、笑い、遊び心、共感力、探究心など、様々なものが挙がりました。お互いに与え与えられているもの聞くと、かけがえのない仲間が集まって今のチムがあることを、改めて感じることができました。

毎月会議前には、こうしたアクティビティを通じて、皆で気持ちを一貫にしていく時間を大切にしています。



リストは手帳に挟み、大切に持ち歩いています。

二〇〇回突破

毎日配信している社内報のCCNが、この度、配信数が二〇〇回を超えるました。

最初は、自宅で育児をしながら働いているクルーに宛てて、社内の出来事を報告するという目的ではじまりました。しかし、配信回数を重ねていくうち、流れいく日々の中に沢山の意味が隠れています。

一期一会庵

ミマモリング

先日、あるお客様からカグヤさんは何をされているのか分かりづらいという指摘がありました。

自分たちは新しいことを取り組んでいるつもりでも、発信を怠っていたのではないかと反省しました。特に業種で選別し判断している昨今においては、何をやっているのかどうの業態で仕分けられています。物品販売の会社とか、教材の会社とか、遊具の会社とか、色々とお客様の認識で分かれるのです。

以前、オランダに視察に行つた際にある教育のコンサルティング会社と提携しました。そこでは、今までのコンサルティングがない新たな視点で学校や地域行政と連携し独自の理念を世界へ広めました。日本ではまだ考えられない業種や仕事が世界にはたくさんあることを知ることができます。

私たちの仕事は、子ども第一主義が理念ですが、これは「子どもの発達を邪魔しない」ということです。カグヤでは、それを実現

いた一日一日を仲間と過ごしているのだと実感する機会になっています。

引き続き、継続によって実践を深化させていきたいと思っています。



上：応接室に飾っている、「ときめき写真」
下：竹取新聞の裏面記事
⇒他の実践へと広がっています。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます。



caguya
株式会社 カグヤ

本社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

☎ フリーダイヤル 0120-917-389

URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)

編集後記

今月も竹取新聞をご覧頂きまして、誠にありがとうございました。

実際に振り返り、改善していく繰り返しの中で、理念の理解も深化していくようになります。

まだまだ暑い日が続きますが、皆様どうぞ「自愛くださいませ」